OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | 未来共生学 6号 目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 未来共生学. 2019, 6 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/72110 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

# 未来共生学

Mirai Kyosei: Journal of Multicultural Innovation

VOLUME 6

## 目次


『未来共生学』第6号の刊行にあたって　栗本英世 | 3

### 特集 | 未来共生学の到達点と課題

**座談会**

未来共生プログラムを振り返って　志水宏吉、稲場圭信、榎井 縁、上西啓介、栗本英世、司会 脇阪紀行 | 10

**論文**

未来共生プログラムの到達点と課題　志水宏吉 | 45

選抜・審査からみた未来共生の未来　山下 仁 | 63

未来共生プラクティカルワークの到達点と課題　榎井 縁 | 73

異文化の中で働く　海外インターンシップの意義と課題　田川千尋 | 95
学生の成長をみとどける　園山大祐
予定調和でないからこそ　脇阪紀行

**エッセイ**

英語との出会い　英語教育でどう専門的能力が磨かれたのか　ステファン ミュラー | 104

共に比べる　岩手県野田村〜トロント市の往復5年間をもとに　モハーチ ゲルゲイ | 121

「フィールド・ラーニング」をつくる　キャリア教育はだれのもの？　神田麻衣子 | 130

国際協力における支援者と被支援者の関係性
未来共生学が教えてくれた目に見えないもの　澤村信英 | 138

未来共生プログラムに携わって感じたこと　河村倫哉 | 142

未来共生プログラムを振り返って　平尾一朗 | 146

「共生・Kyosei」を考える　大塲麻代 | 149

投稿からみえてくる「未来共生」　ジャーナル6号までを振り返って　今井貴代子 | 152

未来共生と「中間人」　崔 美善｜158

「ありのままに生きる」ことと「多文化共生」
筆者のボランティア経験と映画『バグズ・ライフ』を参考に　田中 稜｜162

誰もが当たり前に「性の健康と権利」が享受される寛容な社会へ
金 夏琳｜172

あるバティックデザイナーに目を向けて　インドネシア・ジョグジャカルタでの調査より
塚野理加｜177

**論文**

アフリカにおける多言語主義の行方　沓掛沙弥香｜181

哲学対話において「発言はしなくても OK」か？
「人と共に考える場」の問い直し　桂ノ口結衣｜201

移動とともにある再チャレンジ
アマゾン流域部の日系ブラジル人の事例から　山本晃輔、中島葉子、児島 明｜229

中国にルーツを持つ高校生と教師のコミュニケーション
教科内容に関するコミュニケーションの諸相について　王 一瓊｜263

外国人生徒を「特別扱いする学校文化」の形成に関する考察
大阪府立特別枠校の事例から　伊藤莉央　王 一瓊　林 貴哉　山本晃輔｜299

中国人の海外育児における『WeChat ママグループ』の役割と問題点
日本在住の中国人母親の観点から　張 茜樺｜329

**研究ノート**

国内政治と向き合う “No One Will Be Left Behind”
国際通貨基金（IMF）と経済財務省らによる燃料補助金改革　大瀧千輝｜357

**未来共生プログラム｜コミュニティ・ラーニング**

東北フィールドワーク　未来共生プログラムの原点として
志水宏吉｜377

歩み続ける野田村 アジア民族造形館からのバトン　｜379

おわりに　渥美公秀　モハーチ ゲルゲイ　石塚裕子　山本晃輔｜407

**書評**

広瀬巌
『平等主義の哲学―ロールズから健康の分配まで』
齊藤拓訳、勁草書房、2016 年　数実浩佑 ｜ 410

ガート・ビースタ
『よい教育とはなにか―倫理・政治・民主主義』
藤井啓之・玉木博章訳、白澤社、2016 年　山口真美 ｜ 413

倉石一郎
『増補新版　包摂と排除の教育学
―マイノリティ研究から教育福祉社会史へ』
生活書院、2018 年　伊藤 駿 ｜ 416

神谷悠介
『ゲイカップルのワークライフバランス
―男性同性愛者のパートナー関係・親密性・生活』
新曜社、2017 年　冨安皓行 ｜ 420

武黒真紀子
『相互行為におけるディスコーダンス
―言語人類学からみた不一致・不調和・葛藤』
ひつじ書房、2018 年　中川佳保 ｜ 423

**エッセイ**

「被災者の言葉を奪った」とはどういうことか
小説『美しい顔』をめぐる論争から　宮前良平｜426

自然から見えた共生　神谷千織｜433

自由のためのソーシャルメディア
共生社会への可能性　西 徳宏｜436

英文要旨 ｜ 440

活動記録 ｜ 447

執筆者紹介 ｜ 450

『未来共生学』投稿規定 ｜ 457

編集後記 ｜ 461

デザイン｜河村岳志
本文組版｜小山茂樹（bookpocket）